

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・7月予測） ～雇用・消費分野が停滞しマイナス傾向続く

2021年7月6日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

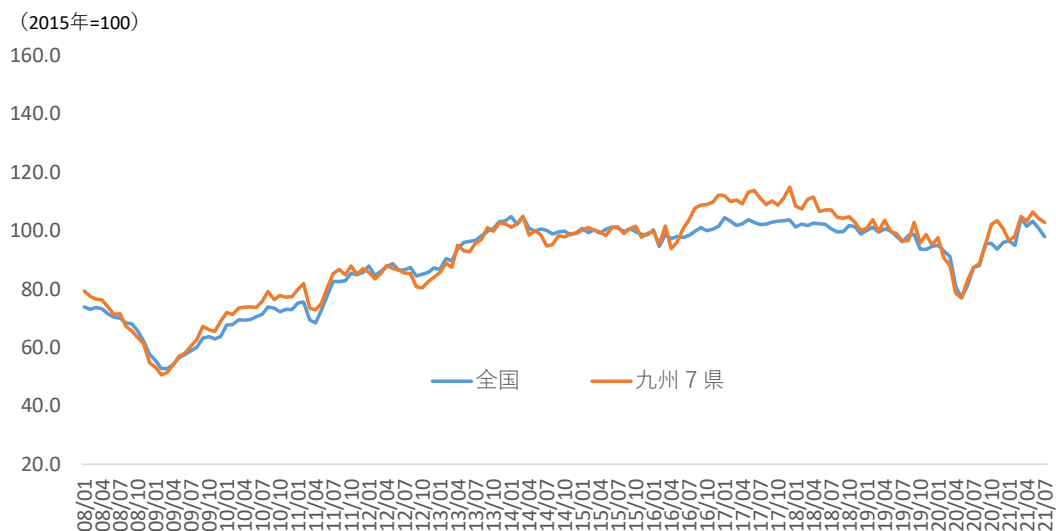
九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）¹を作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）²を DATASALAD にて公表している。本稿では、2021年6月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2021年7月の予測 CI を解説する。

2021年7月の九州7県の予測 CI：2カ月連続マイナス

2021年7月における九州7県の予測 CI は前月比▲1.2%の102.9となり、2カ月連続でマイナスとなった。都道府県 CI は2020年5月を底に反転し、2020年12月以降は一進一退、2021年2月以降はプラスで推移していたが、6月より新型コロナウイルス感染拡大第4波の影響が表面化した。2021年7月は、第4波が落ち着くなかでも雇用、消費は鈍い動きが続くとみられる。生産分野はプラスに寄与する一方、前月と同様に雇用と消費分野がマイナスに寄与し、CI は前月を下回る見通しである。

全国は前月比▲2.8%の97.9となり、九州よりも大きくマイナスとなった。特に消費分野の落ち込みが悪化要因となっている。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2021年4月までは実績値（都道府県 CI）、2021年5～7月は予測 CI

注2) 2021年7月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2021年7月の九州地域の予測CI：生産はプラスとなるも消費・雇用分野で鈍い動き

2021年7月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、9県のうち6県でマイナスとなり、特に大分県（前月比▲2.9%）、沖縄県（同▲2.5%）でマイナス幅が大きかった。いずれも消費・雇用分野のマイナス寄与が他県に比べて大きい。

福岡県、佐賀県、長崎県、鹿児島県では、消費・雇用分野の動きは鈍いものの、生産分野の先行系列がプラスに寄与している。全国の鉱工業生産予測指数においても生産用機械、輸送機械の上昇が予測されており、7月は、マイナス傾向が続くなかで生産分野が悪化幅を緩和する可能性がある。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

	指数（2015年=100）						前月比（%）					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2021年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	2021年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
全国	95.0	104.3	101.5	103.3	100.8	97.9	▲1.6	9.8	▲2.7	1.8	▲2.4	▲2.8
九州7県	98.3	104.9	103.3	106.5	104.2	102.9	1.9	6.7	▲1.5	3.1	▲2.2	▲1.2
山口県	78.1	86.4	86.4	86.1	83.1	82.8	1.7	10.6	0.0	▲0.3	▲3.5	▲0.3
福岡県	84.5	94.8	92.4	92.1	90.8	90.6	4.4	12.2	▲2.5	▲0.3	▲1.4	▲0.3
佐賀県	77.5	80.2	82.2	87.7	86.7	85.1	▲1.9	3.5	2.5	6.7	▲1.2	▲1.8
長崎県	83.9	92.2	89.0	90.0	88.3	89.4	5.0	9.9	▲3.5	1.1	▲1.9	1.3
熊本県	111.1	124.1	118.7	120.2	115.7	116.3	2.2	11.7	▲4.4	1.2	▲3.8	0.5
大分県	91.3	98.2	94.1	94.2	92.0	89.4	1.0	7.6	▲4.2	0.1	▲2.3	▲2.9
宮崎県	90.0	100.6	98.7	102.5	99.2	99.5	9.6	11.8	▲1.9	3.9	▲3.2	0.3
鹿児島県	98.6	109.7	102.7	104.3	101.9	101.3	0.2	11.3	▲6.4	1.6	▲2.3	▲0.5
沖縄県	75.8	85.0	77.0	81.9	76.8	74.8	1.1	12.1	▲9.4	6.4	▲6.3	▲2.5

注1) 2021年4月までは実績値（都道府県CI）、2021年5～7月は予測CI

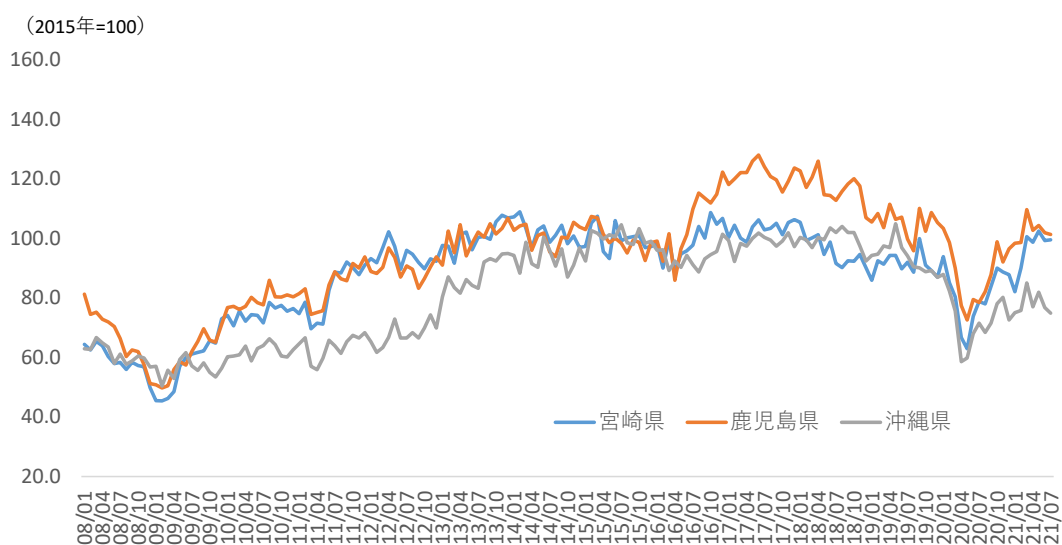
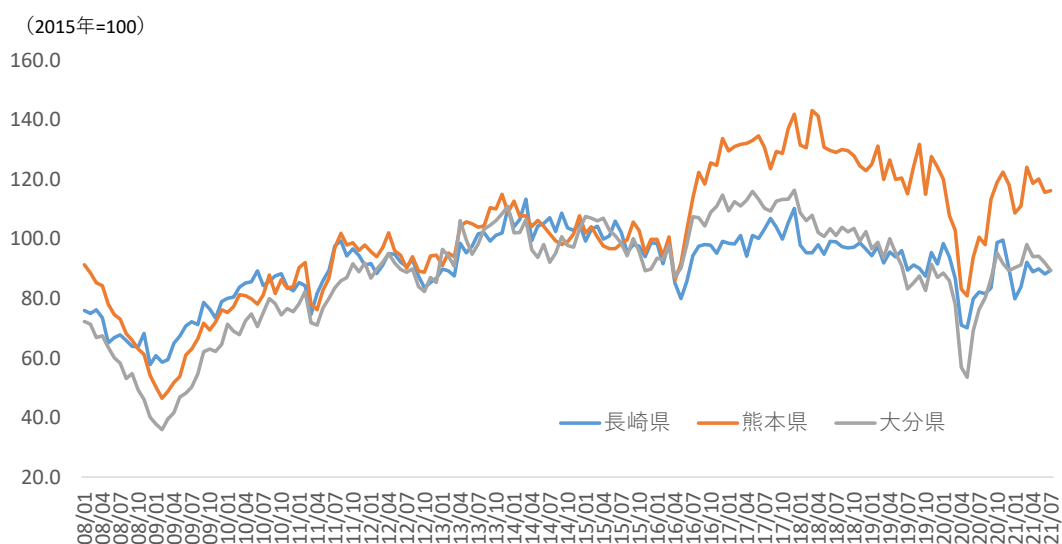
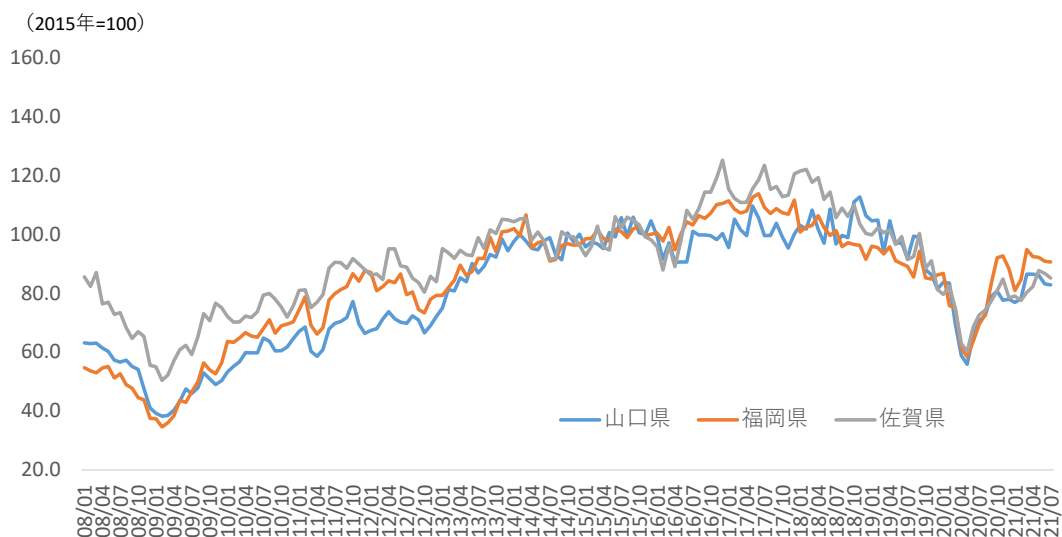
注2) 2021年7月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（事業開発部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2021年4月までは実績値(都道府県CI)、2021年5~7月は予測CI

注2) 2021年7月2日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i 景気動向指数（CI）は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ（気温や降水量）など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域（九州、沖縄県、山口県）の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号